



人・漆・自然 — 輪島から

稲忠

いなちゆう

INACHU JAPAN



人・漆・自然 — 輪島から

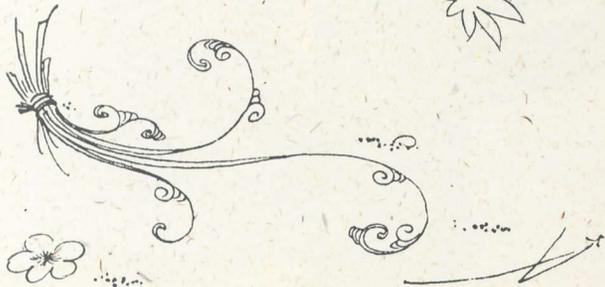
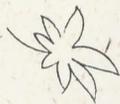
株式会社 稲忠漆芸堂

〒928 石川県輪島市中央通り3丁目1番地 TEL(0768)22-2300代

FAX(0768)22-2302

●総合予約センター TEL(0768)22-3300 FAX(0768)22-5454

人・漆・自然
—— 輪島から



伝統を大切に する日本の美意識が、 千年の歴史の中に息づく。

加賀百万石の大きい遺産

起源より約二千年産地が形成されてからすでに六百年の歴史を持つ輪島塗りは、加賀前田藩の保護のもとに、その揺籃期に花びらいた工芸品です。あらゆる漆器の最高峰と評価され、全国に知られる名匠とかずかずの名

品が生まれました。

能登の風土に育まれた漆

輪島塗りの素地は、能登の地に繁茂するアテ(アスナロ)の木、樺を用い、下塗りは地粉山から採掘した特質の地の粉を使用しています。

そして高温多湿の気象が、漆の乾燥に適しているところから堅牢優美と評価されるに至りました。

雄大な能登の自然。素朴な人情。そのふれあいの中で、必然的に生まれた漆芸といえます。

確固たるしたたかさと誇り

「漆は生きもの」と云われ、作る人の心や、環境によって微妙さを表します。木地師匏を、塗師は匏を、研師は研石を握りしめ息をとめるような緊張がつづく忍耐と厳しさの世界です。三十工程を経るに百二十四の手数がかかる。同じ作業を繰り返しながら、さらにもっといいものにと、執念のような職人魂が質を高め、美を究めてきたのかも知れません。

多くの人々の心通う輪島塗りは、多様な現代の暮らしの中で、個性を見失うことなく、新しい図柄や技法を産み出しています。



文庫 鶯鷺沈金・前大峰作

お取扱い

ご使用後は、スポンジ・布等で中性洗剤を用い、水またはぬるま湯で洗って下さい。

ゆすぎの後は柔らかな布で拭き、柔らかな紙または布で包み箱にしまい、直射日光の当たらない場所で保管して下さい。

日本伝統工芸作家
田崎昭一郎氏



黒塗り内朱「吸物椀」





扇面四季草花時絵「三ツ揃屠蘇器」——表野笋次作



生漆をおしみなく使用し、百二十四の工程をすべて手作りで行なわれます。工程で最も重要な下地の段階で下地漆に『地の粉』を混合し、より堅牢なものにしています。また、布着せをし剝離破損しやすいところを、他産地では行なわれていない輪島塗ならではの手法で下地の上に生漆を塗り込みます。

輪島塗りのびんかんび



9. 蒔絵仕上げ

Wajima Lacquerware

The origins of Wajima lacquering can be traced to the Muromachi period, 1336-1477. A priest from Negoro temple, in present day Wakayama, came to Wajima and taught the local craftsmen the art of Negoro lacquering. The initial techniques have been continuously studied and improved throughout the years. Wajima lacquerware is unique to the other lacquers found in Japan in that the weaker areas of the wooden bases are reinforced with strips of linen. The next step



is called nunokise. It prevents chipping and results in a stronger finished product. A major break through occurred with the use of jinoko, a diatomaceous soil, in the priming stage. The marine fossil laden soil is baked, then ground into a powder. It is mixed with rice paste and lacquer to form the base coating. This is just the beginning of the 120 or more steps necessary in the production of one piece. Articles are finished and ready for decorating in a year or two. Designs painted with lacquer then sprinkled with gold dust are called makie. Wajima lacquerware is known throughout Japan for its beauty and durability. These functional art pieces are also becoming recognized throughout the world.

日本の心と色を丹精こめて塗り重ねる。



老松蒔絵「ヒツ揃屠蘇器」—田崎昭一郎作



【煮物椀5客】

【椀】

【五段重 台付】

【特選座敷机】



【衝立】



【茶棚】



【菓子器】



【文庫】



【棗】



【コーヒーカップ】

輪島塗は、その神秘的な光沢の美しさゆえに古来より

日本人の心を魅了し、今日もなお、愛され続けています。

そして海外にも漆器＝ジャパンという呼び名で知られ、
みがきぬかれた工芸の粋を競っています。

やさしく暮らしを彩る伝統の美。



ヨーロッパ各国の専門家の協力を得て建設した、日本で最も豪華な宮殿建築です。

■開館午前8時～閉館午後5時
(年中無休)

世界の王朝美術館



イチウ コスモポリタン

石川県輪島市朝市通り TEL(0768)22-9888代

能登のお祭館

キリコ会館

石川県輪島市塚田海岸(稲忠漆芸会館並び)
TEL(0768)22-7100代

室町時代から伝統を受け継ぐ能登のキリコ祭り。展示品には手を触れられ、撮影も自由です。



■開館午前8時～閉館午後5時
(年中無休)



塚田店隣接
レストラン

花車

輪島市塚田海岸(稲忠漆芸会館隣)
TEL(0768)22-0813

能登路の途中で、お気軽にお立ち寄りください。グループ旅行、家族旅行など、能登路の思い出にぜひどうぞ。



本店 稲忠漆芸堂

石川県輪島市中央通り3丁目1番地 TEL(0768)22-2300代
塗りから絵付まで、すべての作業工程をご覧いただけます。多彩な蒔絵の技など、輪島塗の神髄にじっくりと触れてください。

●観光バス18台(本店前6台、第1・第2駐車場各6台)収容可能なひろい駐車スペースを設けお持ち帰りしております。
朝市通りへ徒歩3分。
朝市の休日は正月三ヶ日と毎月10日、25日。



塚田店 稲忠漆芸会館

石川県輪島市塚田海岸3-30-2 TEL(0768)22-3300代
百二十にも及ぶ、輪島塗の全工程をご覧いただけるとともに、美術品からお土産まで、豊富に取り揃えております。

●観光バス30台収容可能なひろい駐車スペースを備え、2階のレストラン「いなちゆう」では700名様(椅子席)で同時にお食事ができます。

東京都

稲忠東京店

東京都港区赤坂1丁目5-2
TEL(03)3582-4451代

愛着のわく逸品を、豊富に揃えてお待ちしております。



大阪店 稲忠大阪店

大阪店
稲忠大阪店

大阪府中央区南船場3-5-21
TEL(06)245-8800代
暮らしの中に輪島塗の用と美を、お届けしております。



伝統と美を心をこめてお届けします。